

有志住民が役員任期なしの自主防災隊を結成

～コンドミニアム坂戸自主防災隊(坂戸市)～



組織概要

- 創設:平成13年
- 加入世帯数:257世帯
- 特徴:マンション自治会・管理組合とは別組織



活動内容

- 1 活動の継続性を確保するため、有志住民の自主防災隊は役員任期なし**
マンションの自治会や管理組合とは別に、防災活動に特化した組織を運営。
- 2 防災隊の訓練は毎月繰り返し実施**
隊員は救護所設置、発電機の管理、全館放送の実施、無線機の管理、応急手当・担架搬送などの訓練を毎月繰り返し実施。年1回の全体訓練には約7割の世帯が参加。
- 3 高齢者など避難行動要支援者の情報共有、子供が参加する避難所生活体験**
高齢者などの居住場所を図面化し、災害時には全員で情報を共有できるようシステムを構築。市や学校と連携して、子供も参加するテントでの避難所生活体験訓練を実施。

ポイント

自治会や管理組合の役員交代により活動の継続性が担保できない課題を解決するため、有志による任期なしの組織を結成、積極的な訓練活動を行っている。



コンドミニアム坂戸自主防災隊に聞きました！

Q マンションなどの集合住宅で自主防災活動を行う場合のポイントは何ですか。

A 建物自体は丈夫で安心だと考え、防災活動に無関心になる住民が多くなりがちですが、いかに活動に巻き込んでいくかが重要となります。

Q マンションの自治会と管理組合による「自主防災会」を、有志による「自主防災隊」に変えた効果は何ですか。

A 隊員の意識が変わり、スキルの積み重ねができ、実践的な訓練ができるようになりました。いわば、マンション内の消防団のような組織に変わりました。

Q 自主防災隊が多くの訓練項目を毎月繰り返し実施していますが、そのような積極的な活動を行うためには何が一番大事ですか。

A 意思決定にできるだけ多くの隊員の意見を取り入れつつ、会合等はできるだけ速やかに終わるように努め、負担をなるべく減らすようにしています。活動に楽しみを入れて継続的に参加してもらえるようにしています。

Q 自主防災隊の活動を行うにあたって、苦労したこと、課題などがありますか。

A 防災活動は誰かがやってくれるとの意識があるため、住民への意識付けに苦労します。住民の高齢化も進んでいるため、避難行動要支援者対策などが課題となっています。

Q 活動を長続きさせるための工夫やヒント、多くの住民に参加してもらうためのアドバイスを教えてください。

A 隊員も楽しみながら参加しつつ、スキルが上がってくると、防災隊員としてのプロ意識が芽生えてきます。掲示物を見やすく工夫したり、管理組合や自治会の会合で防災活動についてこまめに連絡したりすることで、多くの住民にも参加してもらっています。



有志住民が「自主防災隊」を結成



独自に放送設備を設置し防災情報を即時に住民へ周知

